

土曜朝市

朝市におじゃったもんせ



かのや土曜朝市  
ひだか かつお  
日高一夫 会長

2月28日に開催された土曜朝市の様子



毎週土曜日、本町のイベント広場で開かれている土曜朝市は、地域活性化を目的に、平成9年に始まりました。

大隅半島の新鮮な農林水産物や加工品など多くの品物が出品されており、生産者が直接販売しています。売り手と買い手が顔を合わせてやり取りでき、安心して購入できるのが魅力で、市民に広く親しまれています。

土曜朝市が開業した当初から通う市内在住の山下明美さんは、「新鮮な野菜を安くで買えることが魅力的です。また、朝市には、無農薬野菜など、こだわりを持って作られている農家の方がたくさんいます。農家の方と直接やりとりをし、色々な会話から教えてもらうことも楽しみの一つです」と朝市の魅力を話してくれました。

また、生産者の中には、お客さんと話をするのが楽しいと何年も変わらずに出店されている方もいます。



新鮮な野菜などが格安で販売されています。



みどりの停車場

新鮮野菜を味わって欲しい

旧串良町時代に、地域活性化等を目的に平成13年にオープンした農産物等の直売施設が串良農産物等直売施設「みどりの停車場」です。

店内には、近隣の農家の皆さんが持ち込んだ野菜が生産者の名前ごとにカゴに分かれて陳列されているほか、カゴの中には生産者の顔写真が入っています。消費者の皆さんに安全・安心な農産物を届けたいと顔の見える販売を実践されています。



生産者の顔が見えるようになってきました。商品のラベルにも、もちろん生産者の名前などが記載されています。

「土曜朝市の良いところは、自由であるということ。登録出店者が自由に売店して、お客さんが自由に買って帰って、それがこの朝市の自由な雰囲気につながっていると思います」と話すのは、有機栽培の紅はるかや卵を販売する土曜朝市会長の日高一夫さん。

「多くの皆さんにこの自由な雰囲気を味わってもらいたい。退職後に農業をはじめた人や本業がありながら農作物を育てている人など、若者が腕試しで出店しても良い。この朝市をチャレンジの場として活用してください。また、朝市は様々な情報交換の場です。農家の皆さんとの会話から役立つ情報がきつとあるはず。この交流の輪がもっと広がることを願っています」。

皆さんも、出店者やお客さんが笑顔溢れる、気持ちよい雰囲気の中で、新鮮で安いこだわりの野菜などを買物できる土曜朝市の魅力に触れてみませんか。



かのや土曜朝市  
本町 イベント広場  
毎週土曜日  
7:00~11:00

元農業委員会会長の平良 隆さんにお話を伺いました。

「体を動かし健康を維持するためにと長年酪農など農業に携わってきた経験から、さつまいもの出荷を初めまして、お店に出荷に行くこと、お客さんとの会話や交流から消費者がどのような野菜を求めているのかが分かります。現在であれば紅はるかやサトイモであり、時期によりあれを作ろう、これを作ろうと考えるようになりました。今では、色々な作物を組



野菜を収穫する平良隆さん

み合わせて出荷しています。

農業は作物の価格が安定していないため、収入が不安定となり後継者不足などの問題を抱えています。命を支える生命産業の大切さを理解して欲しいと思います。そして、何よりも消費者の皆さんには、新鮮な野菜の美味しさを知っていただきたいと思っています」と話してくれました。



みどりの停車場  
串良町下小原3129番地  
☎63-7692  
毎週月曜日が休館  
9:00~17:00

Interview

酒井 光昌 さん  
明日香さん夫婦

昨年の7月頃、知人から「野菜を生産しているなら朝市で試してみたら」と勧められ、出店を始めました。

無農薬にこだわった小麦粉や野菜を販売していましたが、当初はなかなか売れず心配していました。しかし、野菜の育て方や収穫方法を始め、「ラッピングに工夫を」などと様々なことについて、朝市の先輩方からアドバイスを受け、徐々に売れるようになりました。今では、「今日はあの野菜は売ってないの」「この前食べた野菜おいしかったよ」などとお客様に声を掛けていただき、顔を覚えていただけていることを本当に嬉しく思っています。

将来パン屋を目指す私たち夫婦にとって、朝市は、野菜に関することから、お客様とのコミュニケーションの必要さなど様々なことを学べる貴重な場です。何か売りたい物がある若い生産者の皆さん、一度出店を試してみたいいかがですか。



酒井さん夫婦が作った無農薬の小麦粉や野菜など

